

## 〈 3月～6月の主な活動 〉

3/4	本会議（一般質問）	4/20	愛リバー清掃
3/5	総務産業建設委員会	4/23	義農祭
3/7.8	予算決算委員会	5/17	土地開発公社
3/13	本会議（閉会）	6/4	岡田地区青少年育成総会
3/15	岡田中学校卒業式	6/11	本会議（開会）
3/19	白鶴保育所卒園式		予算決算委員会
3/22	岡田小学校卒業式		広報委員会
3/25	広報委員会	6/17	本会議（一般質問）
	土地開発公社	6/18	総務産業建設委員会
4/5	白鶴保育所入園式	6/20	予算決算委員会
4/6	西古泉第八分団詰所落成式	6/22	ふれあいいきいきサロン
4/7	老人クラブ総会	6/24	本会議（閉会）
4/9	岡田小学校・中学校入学式	6/25	町政懇談会
		6/29	エンジョイホッケー

## 〈 プロフィール 〉

～1992年	エンゼル幼稚園卒園、岡田小・中学校卒業
1995年	伊予高校卒業
2000年	同志社大学文学部心理学専攻卒業
2000年	株式会社リープ21入社（大阪本社にて総合職）
2009年	西濃運輸株式会社（本社付けにて総合事務職）
2023年	エンゼル学園（現在 幼稚園職員）

# 松前町議会議員 重松 ともゆき

（連絡先）

〒791-3134 松前町西古泉137-4

電話 090-9699-1529

E-mail : shige76shige76@gmail.com

重松ともゆき

検索



重松 ともゆき  
SHIGEMATSU TOMOYUKI

# 後援会だより

VOL.3 2024年 7月号



皆さまこんにちは。

西古泉の重松ともゆきです。

この度後援会だよりVOL.3発行の運びとなりました。日ごろから応援していただいている皆様方にこの場を借りて感謝申し上げます。

## 【死角となる場所に防犯カメラが設置されます！】

さて、6月議会が6月11日から開議し、6月17日の一般質問で重松ともゆきは二回目の登壇をいたしました。

この日は二つの質問をしました。一つ目の質問は、「役場内でのパワーハラスメントについて」です。以前の話ですが、いわゆる職場内でのパワハラで休職にいたった職員が何人かいるという話を内外から聞きました。そこで、休職されている方々のケアはどうなっているか等を質問しました。

町からは、職員からの申し出は3件あったものの、いずれもパワハラ案件にはあたらないとの答弁をいただきました。

私からは、執行部の方々が率先して職場のよい雰囲気づくりをすることで、働



(令和6年6月17日 一般質問の様子)

きやすい環境が生まれ、結果有望な職員が就職することにつながるのではないか、ということ述べさせていただきました。

二つ目の質問は「町内の防犯カメラについて」です。今年に入って小学生の登下校中において、児童への声掛け事案などが多発しており、町内の小学校や登下校ルートでの防犯

カメラ設置状況はどうなっているのか、また子どもたちに万一のことが起こった際の町としての取り組みについて質問しました。

町からは、「死角となる場所に防犯カメラを設置する」との回答をいただきました。区長さんや地域の見守り隊の方々が実際に声をあげていただいていたことも防犯カメラの設置につながったと思います。皆様本当にありがとうございました。

## 【幼稚園の職員になりました】

エンゼル学園で働き始めたことは前号でお知らせしましたが、4月から幼稚園の事務に異動になりました！毎日元気な子供たちに囲まれながら仕事させてもらえることは、とても励みになります。働いていく中で、例えば、こども基本法や子ども・子育て支援制度など、子どもに関する様々な法律や制度を勉強しています。

皆さまもご存じのとおり、政府は2023年に「こども家庭庁」を創設しました。子どもの様々な問題をすべて一元化して対応するためのものです。自治体にも「子



ども・子育て支援事業計画」というものがありますが、本町においても夫婦と子どもの核家族世帯の割合が65%ほどになっています。核家族化によって、頼れる人がいないことによるストレスやプレッシャーが増加したり、家庭の養育力の低下が心配されます。町のアンケート結果を見ても半数程度は子育てに不安を感じており、日ごろ子どもを見てくれる人がいない、相談できる人がいないという人が一定数いるようです。

このように現実にはさまざまな家庭の事情があり、家庭ごとの生活スタイルも違ってきます。自治体が目指そうとしている子育て支援と、実際の現場に乖離が生じ、必要な支援が足りなかったりといった実情があり、心が痛みます。そういった中でも地域や関係機関等が連携し、切れ目のない相談・支援ができるような体制づくり、地域で安心して子育てができる環境づくりをともにしていければ、と考えております。私自身もっともっと勉強をして、地域皆で支えあえる、たくさんの人たちが子育てに関われるような提案を町のほうにしていければいいな、と考えています。

